

令和7年度 米沢市協働提案制度補助金 認定事業一覧

No.	提案者名	提案の名称	提案概略	提案の形態	行政課題の名称	関係課	補助決定額 (円)
1	特定非営利活動法人 雲井龍雄顕彰会	幕末米沢藩士、憂国の士「雲井龍雄」の顕彰と広報活動	・ 昨年度、雲井龍雄の偉業、足跡を表した冊子を制作し、同時代の幕末米沢の歴史を顕彰しながら、市内の小、中、高校に配布し、地域の歴史、文化の保護を活性化しながら人材の育成と定着を行う事業を終了しました。 ・ 今年度は作成した冊子を基に高校生共同で幕末米沢の歴史についてのフォーラム開催を企画します。合わせて雲井龍雄関連の講師を招いての講演会開催も予定します。 ・ 雲井龍雄の菩提寺は林泉寺に近い「常安寺」にあります。境内には大正時代の米沢市民有志の方々により建立された墓と、我々「雲井龍雄顕彰会」が建立した銅像が山門に建っています。訪れる観光客の方も多く見られます。残念なことに境内の案内板が未整備になっており、昨年度新たに看板の設置を計画しましたが、達成できませんでした。今年度、再度協働提案制度補助金事業を活用し完成したいと考えています。 ・ 詩人としての雲井龍雄の漢詩は今なお全国の詩吟愛好家の方々に吟じられています。これらの方々にも完成した冊子を配送し、情報発信と共に、芸術文化の振興と合わせて同人コミュニティ形成と参加促進に寄与できるように活動します。	行政課題型	5.市民と学生の交流推進 14.地域資源を活用した観光の振興 21.芸術文化の振興	社会教育文化課	500,000
2	猫のひなたぼっこ	猫と人が共生できる、住みよい地域づくり創生事業	米沢市内の野良猫、捨て猫はとても多い。野良猫の寿命は3、4年と言われているが、それでも多くの野良猫によって、糞害に困っている人、近所でたくさん増えて困っている人がいる。一方、単に餌だけやって野良猫の繁殖につながっている事例も多い。また、最近では猫の虐待や、飼い主がいなくなった多頭飼育崩壊で行き場のない猫に困るという事案も多い。 米沢市は昨年度から公的な補助金が交付されるようになったが、それ以上に自分で費用を負担して避妊や去勢手術を行い、自宅の内猫として保護して飼育したり、外猫として世話をしたりしている人が依然として多いのが現状である。 これらの現状に対して、昨年度発足した我々のグループでは、上記のような課題がある市民に対して、アドバイスを行ったり、避妊・去勢手術の補助金を含めたサポートを行ったり、望まれない命を増やさない、繁殖を低減していく取組を引き続き行っていきたい。	市民発案型	-	生活安全課	500,000
3	特定非営利活動法人 から・ころセンター	『子どもの居場所』 ～米沢で生きる力を考える～	不登校や経済的貧困等々、様々な課題を抱え、大切な成長期間を孤独に過ごしている米沢市内の子ども達を対象として、家庭や学校だけでは補いきれない「体験活動」や「安心して過ごせる環境」を地域でカバーする『子どもの居場所』の拡充を目指す。民生児童委員、関心のある米沢市民、学生ボランティア等、地域の様々な存在にご協力をいただくことに加え、そこに不登校やひきこもりの経験者（ピアサポーター）が持つ当事者の目線を取り入れることによって、事実上教育機関や行政・福祉にその多くを依存する子どもの問題を、米沢という地域全体で考える風土を醸成する。	行政課題型	9.子育てに寄り添うまちづくりの推進	こども家庭課 学校教育課	500,000
4	米沢さしこの会	米沢さしこの会スタートアッププロジェクト	米沢には米沢藩下級武士原方衆の妻が刺した刺し子が伝承されてきた。その「原方刺し子」はある特定階級、性別が限定され、その伝承者も米沢で1人となり伝承を危惧されていた。その伝承のために、阿部宇洋氏（山形大学）らによって調査保存されてきた。しかし、2024年11月最後の伝承者が事業を終了し現在、原方刺し子を名乗れる人材は皆無となり、米沢の刺し子文化が断絶の危機にある。そのため、会を立ち上げる活動のスタートアップの支援を頂きたい。 ・ 米沢さし子の会の情報インフラの作成（ホームページ、SNS）。 ・ 原方刺し子の伝承の難点であった「米沢藩下級武士原方衆の妻」限定性を現代に合わせて緩やかに解放し、老若男女、貧富の差別無く誰でも気軽に原方刺し子にふれてもらうことの出来る様な機会を創出するワークショップの実施。 ・ 「原方刺し子」という名称から「米沢さしこ」として現代社会にあわせた地域の技術伝承をゆるやかに無理なく実施する事。	市民発案型	-	社会教育文化課	500,000
5	特定非営利活動法人 With優	地域を巻き込んだ基金の拡大プロジェクト ～「あきらめなくていいんだよ」と声をかけられる社会を目指して～	本事業は令和6年10月に設立した完全給付型の「子どもの未来を支える里親基金」をより多くの市民に知っていただき、賛助会員を募る他に期間を区切ってプロジェクト形式で協力いただける飲食店等の店舗等に募金箱50個を設置してもらい、地域課題を知ってもらおうと共に気軽に市民が支援を必要とする子ども達を支援できる場を広げていく。	行政課題型	9.子育てに寄り添うまちづくりの推進	こども家庭課	500,000
6	特定非営利活動法人 三條かの記念館	アウトリーチ事業（出張コンサート）	米沢市内外に在住する多くの有能な演奏家に演奏を依頼し、米沢市内の小・中学校、養護学校などを訪問して生徒たちに生演奏を聴くことのできる機会をつくる。そして、音楽のもつ素晴らしいさや楽しさを届け、心が豊かになる経験をしてもらう。また、音楽家を目指すお子さんが増えるきっかけとなることを期待している。年に1回、本事業に携わった演奏家によるコンサートを三條かの会館にて開催する。	市民発案型	-	社会教育文化課 学校教育課	500,000